

公立高校入試に「追試」を導入

平成31年度埼玉県公立高校入学試験から「追試」導入が決定。現在、中学2年生が受ける試験からです。

インフルエンザ等の急病によるやむを得ない事情で、**学力検査を受検できなかった志願者に配慮し「追試」を新たに実施するものです。**



「車中泊」避難対策

県は、昨年より、越谷市内など県内5か所にある防災基地に「車中泊」避難者対策の一つで、狭い車内で血栓発症の可能性があるエコノミークラス症候群の予防策として**「医療用の弾性ストッキング」**の備蓄を開始。万が一に備えて、今後数年かけ備蓄数量を積み増す計画をしています。



▲弾性ストッキング

災害調査にドローンを活用

県内における地震や風水害などによる災害発生時の調査にドローン(小型無人機)を活用することが決定しました。

県は平成29年6月12日(月)に「埼玉県測量設計業協会」と、11月24日(金)に「災害対策建設協会JAPAN47」と災害時応援協定を締結しています。



その他の一般質問

- LINEを活用した相談体制の構築について
- 県営住宅における自治会活動への対応について
- フロン類の適正管理による地球温暖化防止の推進について
- 公共事業における「見積もり活用方式」について
- 県道西金野井春日部線の整備について
- 一級河川・新方川の整備について

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

公明党
県議会控室

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408
〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337



TEL・FAX 048-738-2364

ごんもり幸男 県議会ニュース

KOMEITO
公明党

f yukio.gonmori

@gonmori_yukio

goncall1013

メルマガ登録はこちら



県政相談はお気軽に TEL・FAX 048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com

平成29年12月定例会の一般質問で見解を求めた「不育症」について

「不育症」検査に助成 県が流産、死産対策へ

ごんもり幸男質問

不育症とは、2回以上の流産を繰り返すことです。

知事には、治療費助成について、保健医療部長には、不育症に悩む方が気軽に相談しあう「セミナーカフェ」の開催、不育症に対応できる医師と保健師の育成をどう行うのか、県ホームページや小冊子発行などの啓発策について見解をうかがう。

知事答弁

まずは検査を受けていただくために、「検査費用」を助成できる仕組みを実現する。

保健医療部長答弁

「セミナーカフェ」の実施に向け、具体的な手法を検討する。保健師等に対する研修の実施やその方法について検討する。県ホームページについて、相談窓口をご案内するなど早急に改善する。

2017年(平成29年)12月14日(木曜日) 第262号

埼玉新聞

2017年12月14日 木曜日

埼玉新聞社 平成29年12月14日付

城西大学 http://www.josai.ac.jp

Jbc 城西短期大学 http://landai.josai.ac.jp

6 近県観光情報を開始

9 クラブW杯 深井5位

5 ポラス、障害者雇用促進へ

優勝報ズ

私の質問が1面トップを飾りました。

さらに進展!! 春日部駅付近連続立体交差事業について

国との設計協議がスタート!!
事業着手に向け、大きく1歩前進!!

ごんもり幸男質問



国との設計協議開始の前提となる県、市と東武鉄道の3者協議の現在の進捗状況と今後の国との設計協議開始の見通しについてうかがう。

県土整備部長答弁

- 平成28年11月末に東武鉄道から提案のあった「輸送改善計画」を基に鉄道の高架化の検討と併せて、自由通路や駅前広場のあり方などについても3者で協議を重ねてきた。
- この間、国との設計協議に必要な事業計画の案を取りまとめ、平成29年11月末から「国との設計協議」を開始した。
- 春日部駅付近連続立体交差事業の事業化に向け、まずは「国との設計協議」を早期に整える。

※「輸送改善計画」…東武アーバンパークライン（野田線）のホームをこれまでの1面2線から倍増の2面4線とし、現在3面5線の春日部駅を4面8線化する〔東武スカイツリーライン（伊勢崎線）上下線が2面4線、東武アーバンパークライン（野田線）上下線が2面4線〕

【参考】東武グループ中期経営計画2017～2020 (<http://www.tobu.co.jp/corporation/plan/>)



ごんもりがやります!!

平成29年2月定例会で、知事は「長い間お待たせしましたが、やっとスタートラインにつくことが出来ました」「平成29年度中に国との設計協議を開始したい」と答弁。

知事が連続立体交差事業を力強く進めていくことを声高らかに宣言し、「いよいよ「国との設計協議」が昨年11月末からスタートしました。」

今後、この事業が着手するまでには必要な手続きとして、「国との設計協議」において「事業計画」を確定した後、県の都市計画決定手続き、国の事業許可の取得などがあります。

引き続き、私ごんもり幸男は、1つ1つの課題を着実にクリアーするため全力で取り組みます。

期日前投票の利便性向上について

ごんもり幸男質問

選挙管理委員会委員長答弁

昨年10月22日に行われた第48回衆院選において、投票日前日（21日）の県内各地の投票所が大混乱したと聞いている。

各市町村に対して期日前投票の混雑状況について実態調査を実施するのかどうか、見解をうかがう。

また、各市町村の期日前投票所について、有権者数比で市町村の設置数にどの程度の差があるのか。期日前投票所の増設に向けた取組みについて、見解をうかがう。

・今回の期日前投票の混雑状況や今後の課題などについてしっかりと実態調査を行い、今後の選挙の執行に活かします。

・今回の期日前投票所1か所当たりの有権者数は、最も多い団体で約14万5千人、最も少ない団体で約2千6百人、平均で約3万7千人となっている。

・地域の実情を熟知する市町村選挙管理委員会とともに期日前投票所の増設に当たっての課題にどのように対応していくか検討し、増設に向けて取り組む。

「あおり運転」の防止について

ごんもり幸男質問

警察本部長答弁

「あおり運転」とは、車間距離をつめて異常接近して追い回す、幅よせなどを指します。

神奈川県内の東名高速道路下り線で、「あおり運転」による大変痛ましい死亡事故が発生し、この事件がニュースで報道されて以降、「あおり運転」は社会的大問題として取り上げられました。

県内でも「あおり運転」を注意されたことに腹を立て、刃物を持って脅すという事件が昨年9月に発生しています。

埼玉県民にも不安が広がっています。

交通取締りを含め、どのように対応していくのか、うかがう。

・悪質で危険な運転を防止するため、車間距離不保持違反、道路変更禁止違反、追越し方法違反等による「交通指導取締り」を強化する。

・運転免許証の更新時等の講習など、あらゆる機会を通じ、「あおり運転」等の悪質、危険な行為を行わないことや、県警察で進めている「ゆとり車間距離0102運動」により、安全な車間距離を保つことなどについて、一層の教育、啓発に努め、いわゆる「あおり運転」等の防止を図る。

大規模火災の消防力強化について

ごんもり幸男質問

危機管理防災部長答弁

平成28年12月22日、新潟県糸魚川市の密集市街地で大規模火災が発生しました。

糸魚川市で起きたこの大規模火災は、本県においても発生する可能があり、また、延焼が継続した場合には、消火用水が不足することも想定しておく必要がある。糸魚川大火で教訓とすべきことは何か。また、この教訓に本県としてどのように取り組む考えか。

・木造密集地では延焼拡大防止などを効率的に行うための「火災防ぎよ計画」の策定が重要とされている。また、消防本部相互の応援体制の整備や消防水利の確保が課題である。これらが糸魚川大火から得た主な教訓である。

・県は、ミキサー車を活用した水利確保の協定を県内各消防本部が締結できるよう、埼玉中央生コン協同組合と調整する。

ごんもり幸男 平成29年12月定例会一般質問 質問要旨（抜粋）